

持続的生産強化対策事業のうち新しい園芸産地づくり支援事業のうち園芸作物生産転換促進事業（都道府県推進）
に関する事業評価票（総括表）

取組主体名	品 目	地 区	成果目標の達成状況			事業計画 の妥当性	適正な 事業執行	都道府県知事の意見
			目標値① 令和３年度	実績値②	達成度合 (②/①×100)			
中津市農業改革推進委員会	小松菜	中津市	% 100	% 0	% 0%	1	1	加工・業務用品目については、新型コロナウイルスの影響により需要が減少した結果、生産量の拡大を行うことが困難であった。また、平成30年度事業の対象品目であり小松菜、ほうれん草と二毛作体系を組む枝豆、オクラについて水田での安定生産技術が確立されておらず、本格的な栽培ができていない状況にある。その結果、ほうれん草または小松菜と水稲等の二毛作が多くなった。今後は栽培技術の確立、新たな販路先の開拓を行い、目標達成に努める。
	ほうれん草		100	0	0%			
	合計		100	0	0%			
豊肥地区次世代農業推進協議会	にんにく	豊後大野市	50	0	0%	1	1	加工・業務用品目については、新型コロナウイルスの影響により需要が減少した結果、生産量の拡大を行うことが困難であった。さといも、人参については、更なる低コスト化、再生産価格にあう新たな販売先の確保を行い、栽培面積の拡大に努めていく。またにんにくについては、近年暖冬の影響を受け県内での安定生産が難しくなっており、栽培面積の拡大、実需者との播種前契約を結ぶことが困難であった。今後も安定生産に向け、技術指導を行っていく。
	さといも		50	100	200%			
	人参		80	100	125%			
合計			59	94	159%			